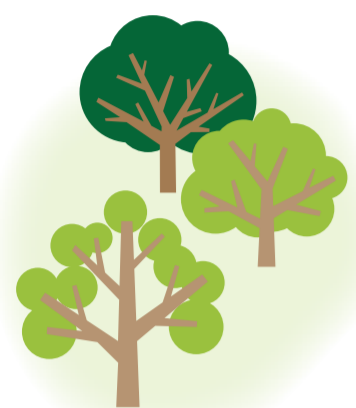


とうほく南三陸の探検!

地域の漁業と自然を



森のトレイルで巨石に登りました

3日目にお世話になった
さんさん館



1日目・2日目にお世話になった
民宿「下道荘」



入谷地区

袖浜

泊浜

神割崎海岸



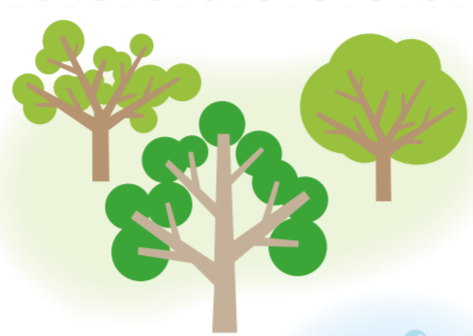
漁船に乗って
ホタテやホヤの
養殖漁業を
体験しました



石ころアートを作りました



海でシュノーケリングとカヤックを体験しました



石ころアートを作りました

人間とツバメの共生

群馬県前橋市立山王小学校 六年
柳澤 明日美

私の通学路の中にある塾に、ツバメの巣があります。そして、トリアには、ツバメの巣があります。びっくりするので、そこを開けてください」というはり紙がはっぴりあります。私はそれを見て、「ふんが落ちてよれないのかな」と気になり、ツバメについて調べてみました。

最近、ツバメの巣が減ってきているようです。その理由の一つに、都会では人がツバメの巣を落とすからだとされています。私が調べたところによると、カラスやネコの天敵におそれた割合が最も多いそうです。一方で、人が巣を落としたり作らせたかったりしたケースは、都市部一〇・六％と、農学部一五・五％の約七倍だそうです。今までは、ツバメはねこやカラスなどの天敵をさけるために、人の暮らしの中で命をつないできましたが、今では人そのものが敵になりました。また、ツバメは人の身近な場所に巣を作りますが、山あいの地域で人が少なくなったため、ツバメが暮らしの害虫を食ったツバメは本来、農作物の害虫を食った益鳥として古くから親しまれてきましたが、人による開発や変化により、ツバメと人のつながりも消えつつあります。

私は、ツバメと共生できる社会をつくるために、安易に巣を落とすのではなく、巣の下にかさをおいたり、新聞紙をしくなどして、ツバメをあたたかく見守ることが大事だと思います。人間の幸せばかりを考えるのではなく、私達を助けてくれるツバメの幸せをすることも大切なことです。人間と同じように、ツバメにも命があることを忘れず、お互いにとって幸せな関係を実現することができれば良いと思います。

だから私の通学路にある塾もツバメのためを思って、そこを開けてください」とかいてあるのだと分かり、私はうれしくなりました。

南三陸新聞

群馬県前橋市立山王小学校
山王小学校
六年
柳澤 明日美

南三陸ってどこにあるの?
南三陸町の11月
下旬の平均気温
は26.4℃
最高気温 31.4℃
最低気温 22.6℃

南三陸は宮城県北東部にあります。

1日目
さんさん商店街
にも行きました?
モアイ像もさんさん
商店街がーと前に
展示されています。

防災庁舎
東日本大震災で新築の
庁舎が7代目になった。生か
た方々は初めの人だそうす
自分の命は自分で守る、し
うことが防災庁舎に行くと
おしえられた気が
します。

2日目
シュノーケリング
南三陸の海をのぞきました。
イトマキヒトデやウニなどを見
ることができました。うれしく
ても楽しかったです。

カヤック
初めてカヤックをやり
ました。少し不安でしたが
教えてもらいながら上
手にこなすことができました。
ありがとうございました。

3日目
漁業体験
ホタテの養殖棚を見
学しました。また、試食を
いただきました。ホタテは
食べたことのないので
おいしかったです。

船に乗るたよ
20日
下道荘の研修
船に乗りました。
20日
下道荘の研修
船に乗りました。

石ころアート
石に絵をかきました。
一回かいてしまうと消
せないのでさんさん
にお願いして上から
かいていただきました。

森のトレイル
巨石
森を歩きました。途中で
あいらしい花やハビなど
に出会いました。また、自然
(川、木々)がきれい
で感動しました。巨石は大
きさなくてもおどろか
ました。上から見た景色は
美しく、思わず見とれてしま
いました。

感想
今回、南三陸に行き貴重な体験
をたくさんすることができました。初
めて知ったことたくさんあり、
とても勉強になりました。旅費
のみんなもとてもよくしてく
てくれてうれしかったです。最後
になりましたが今回、同行して
くださったスタッフのみなさん、
本当にありがとうございました。

ツアー
ニックネーム
あんちゃん

